



抗議書及び意見書

最高裁判所事務総長

堀田 真哉 殿

参考送付

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会及び協力関係団体 会員 各位

全国報道機関 各位

令和4年10月28日

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

代表 原告 多田雅史



前略

当会は、医療事故問題を警鐘する被害者団体であり、会員数が約400名の組織である。今回、①相次ぐ裁判等の記録の廃棄、②デジタル化の遅れについて、以下のとおり、抗議及び意見する。

<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com>

草々

第1 趣旨

- 1 最高裁判所が監督する下級裁判所の裁判等における記録保管について、杜撰な管理がなされていることが判明したため、記録を電子化して永久保存する手法を早急に取り入れること。
- 2 杜撰な記録管理により、貴重な記録に関する国民の財産を損失させた責任の所在を明らかにし、第三者機関による調査を経た上で、関係者及び責任者の厳格な処分を行うこと。
- 3 裁判所の記録、並びに裁判等の手続きにおける文書及び費用納付等における時代遅れの仕組みを改善し、デジタル化を早急に進めること。



第2 理由

1 裁判等の記録保管の杜撰な管理について、

(1) すでに広く報道されているとおり、諸記録について、「特別保存」が必要と判断した場合は、永久的に保存するよう全国の裁判所に指示しているが、実態は、勝手に廃棄処分されていた。このような杜撰な記録管理では、司法としての機能が果たされていないことが明らかである。また、今回判明した事件以外の過去の司法手続きにおける記録についても、同様に、杜撰な管理により、廃棄等がなされている可能性があり、この際、第三者機関による徹底的な調査が必要である。

(2) 司法では、いつまでも紙の記録で保管していることが、今回の事件の根本的な原因である。一方、医療界の診療録では、すでに電子化され永久保存が、広く普及している。司法記録も、同様に電子化して、すべての記録を永久保存すべきである。

2 杜撰な記録管理の責任者の厳格な処分について

(1) 杜撰な記録管理により記録を廃棄した行為は、国民の貴重な記録に関する財産を損失させたものであり、その責任は重大である。一部の行政機関では、「行政文書を隠蔽」、又、「身内に甘い処分」が横行している。

(2) この際、司法は、法律の適用管理を担う国政機関として、責任の所在を明らかにした上で、第三者に期間による調査を経て、関係者および責任者の厳格な処分を行い、範を示す必要がある。

3 裁判所における時代遅れの仕組みの改善について

(1) 現在の司法手続きは、紙や印紙・郵券など、時代遅れの手法を採っており、先進諸外国から大きく立ち遅れて、「昭和」どころか、まったく「明治・大正時代」と同じ状態にある。

(2) すでに、行政機関への公文書開示請求等の手続きでは、請求も費用



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会
Benzodiazepine YAKUGAI Association

納付も電子化されており、同様に、司法も、訴状及び準備書面等の電子化、並びに費用の電子納付など、今すぐに実行できるデジタル化を進める義務がある。

(3) 世界に遅れた日本の司法手続きが原因で、海外の投資家及び企業は、日本への投資及び進出に二の足を踏んでおり、結果、日本の衰退を誘発している。これは、「将来の日本全体の衰退」を招く行為であり、日本司法界が、あまりにも官僚的・体裁的になっていることが背景原因である。現在、日々、世界は大きな速度で変化を続けており、このままでは、さらに日本は遅れた後進国に陥るため、まずは司法界が、時代遅れの体質を改め、率先して、自らの改革を進め、日本を牽引できる先進的な体質組織とすべきである。

付属資料

相次ぐ少年事件“記録廃棄” 最高裁が保存や運用面の検証へ (NHK)

以 上